

一 新年に思う一



「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ、やがて大きな花が咲く」

箱根駅伝のランナーの激走をテレビで見ながら、ふとこの言葉を思い出した。「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ、やがて大きな花が咲く」これはかつてのマラソンランナー高橋直子さんの座右の銘で、よく陸上部の監督が引用する言葉だとか。

いくら頑張ってもいい結果に結びつかないことがある。塾生を見ているとそうである。入塾してすぐに結果の出る生徒。毎日あれだけ努力しているのになかなか結果に結びつかない生徒と多様だ。でも大切なことは、いつかきっといい結果が生まれると信じて、努力することを怠らないことだ。

また、重要なことは、進歩の比較を他人とするのではなく、自分の過去と比較することではないだろうか。他人と自分を比較したら、比較する相手によって左右されてしまう。だから過去との自分を比較することによって進歩が実感できるようになる。

かりに失敗したとしても、それは次につながる「意義ある失敗」になる。「意義ある失敗」の積み重ねが「成功」へと導いてくれる。要は失敗したことを嘆くのではなく、次へと「動く」ことである。動きの中から新しいものが生まれる。

この1年間、私たちは動いた。「とにかく動こう」「やるべきことをコツコツやろう」これが合言葉だった。最悪の状態は一昨年3月。今はどん底だからこの先は伸びるだけだと言い聞かせ動き続けた。そうすると何かが見えてきた。そうなんだ。目立つことをするのではなく、こんな時にこそ目立たない『種蒔き』こそが必要なのだと。

蒔かれた種はすぐに花を咲かせるわけではない。精魂込めて水をやり、肥料を施す。それに燦々とした日の光が必要だ。植物はしっかりと土中に根を張っていないと、幹や茎を支えていくことはできない。だからこそ根をしっかりと伸ばすことが重要だ。

箱根駅伝では18年ぶりに総合優勝した早稲田大学にスポットライトが当たられた。しかし、早稲田の陣容を見ると、全国高校駅伝で名を馳せた強豪校からのスポーツ推薦の選手が多い。勝つのは当然のことだと思う。

この中であって総合で10位に入賞し、来季のシード権を得た国学院大学の健闘は見事なものだった。最終ランナーがゴール直前でコースを間違えるというハプニングもあったが、そこから盛り返した底力は「下へ下へと根を伸ばした」表れだと思う。出場登録した選手の出身校を見るとそのほとんどが無名校のチーム構成。しかし、やればできるんだという意気を示した彼らに最大の賛辞を贈りたい。そして、我々もこうありたいものである。

明日からいよいよセンター試験、「下へ下へと根を伸ばした」底力を見せる時が来た。

■授業振替・休業日のお知らせ

1/10(月)成人の日⇒1/31(月)
29日(土)は第5週(つき休業)

■1月の高校受験土曜特別講座

15日(文系科目)
22日(理系科目)
29日(私立高校受験対策)英・国・数

□受験生への贈り物

「合格エンピツ」「必勝消しゴム」「ポッキー」・・・逆さに読むとキッポー(吉報)を待っているとなる。
これで合格間違いなし



滝川第二高校 全国高校サッカー選手権大会で初V！！



10日国立競技場で行われた第89回全国高校サッカー選手権大会決勝で滝川第二高校は、久御山(京都)を5-3で破り初優勝を飾りました。前半は楽勝ムードでしたが、相手チームの驚異的な粘りにハラハラドキドキでした。

エクシード出身の河田宏平君(志方中学出)はDFとして活躍、初Vに貢献しました。ゼッケンナンバー20番。テレビに大きく映し出された彼の勇姿はりりしさそのものでした。翌日の読売新聞の全国版のトップには、チームメイトとも勝利の喜びに小躍りする彼の写真が大きく掲載され、またまたビックリ。

翌朝出演した「ズームイン朝」では、相変わらずの剽軽ぶりで周りを爆笑の渦に巻き込んでいました。そんな彼はきっとチームのムードメーカーだったのだと思います。

彼は3年に入って足を手術するという不運もありましたが、それを乗り越え、よく頑張ったと思います。塾にもよく顔を出してくれるので、今度会うのが楽しみです。

おめでとう滝川第二高校サッカー部。

おめでとう河ちゃん。

